

北海道教育大学函館校

第6号

江差ソーシャルクリニック ニュース

2023年度もよろしくお願い致します！

平素より江差ソーシャルクリニック(江差SC)の活動に対するご理解とご協力をありがとうございます。江差SCは、大学と町民の皆様が一緒になって地域課題を解決していこうという取り組みです。今号ではニシンチャレンジカップ(NCC)のご報告と、今春卒業した学生たちの声をお届けします。引き続き、活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

北海道教育大学函館校 地域協働推進センター センター長 齋藤 征人
江差SCプロジェクトチーム 代表 古地 順一郎

ニシンチャレンジカップ(NCC)・ニシンゲームチャレンジを実施しました！

2022年9月24日(土)に第3回「江差ニシンチャレンジカップ(NCC)」, 2023年2月4日(土)・5日(日)に「ニシンゲームチャレンジ」を実施しました。本学は実行委員会の一員として関わっています。これらのイベントは、日本遺産の中心的なコンテンツである「ニシン」を江差町のまちづくりに活用する可能性を追求するものです。

第3回NCCの企画にあたっては江差高校の生徒さんが初参加, 当日は函館水産高校の生徒さんもハーリングを携えての初参加など高校生の参加が特徴的でした。また, 2月には「なべまつり」に合わせて「ニシンゲームチャレンジ」も実施しました。コロナ禍の間に学生たちが温めていたニシンにまつわるゲームのアイデアをようやく形にすることができました。江差町の実行委員の皆さんや町民の皆さんのおかげで, 両イベントとも多くのお客様にお越しいただきました。今年度も実施する予定ですので, ぜひ遊びにいらしてください! 楽しいですよ!

●● 第3回江差ニシンチャレンジカップの様子 ●●



●●ニシンゲームチャレンジの様子 ●●



(裏面に続く)

【卒業生の声】江差の皆さん、大変お世話になりました!!

◆◆ 加川 菜々美 ◆◆



まずは、活動にお力添えいただいた皆様に心より感謝申し上げます。皆さんのおかげで、私の知らない地元江差町を感じることができました。SCの活動がなければ、今のような想いをもって江差町に向き合うことはできていないと思います。

入学後、最初の江差町訪問は「江差まち歩きツアー」でした。新しい友達に地元を紹介するつもりでしたが、初めて知ること、忘れていたことが多く恥ずかしい思いでした。夜は法華寺通り商店街で夜市。焼き鳥販売を担当しました。その後も夜市でお手伝いさせていただきました。商店街の皆さんが歓迎してくださり、楽しく活動できました。古地ゼミでは、かけがえのない仲間を持ちました。ゼミ生との活動は新鮮で、新たな気づきや考えに触れました。

江差町での活動を語る上で外せないのがニシンチャレンジカップ(NCC)です。NCCを通して地域の方々との新たな関わりもできるなど、多くの発見や学びがありました。地域にしっかり関わることで、私の知らない江差や人びとを知ることができました。私たちと向き合ってくださいました江差の方々、私の視野を広くくださり、原動力にもなっています。江差町で就職するため、これからもお手伝いしたいと考えています。これからもいろいろな江差を皆さんと見ていきたいです。何卒よろしくお願ひいたします。

◆◆ 菅原 夏希 ◆◆



私が江差町の皆さんとNCCに向けて活動する中で、チームとして活動することの難しさとともに、チームとして活動することで1人では実現できない結果を生み出せることを学びました。学生という立場で、チームとして目的に向かって行動することに慣れていないこともあり、どこまで個人の意思を優先させるのか、個人に負担がかかりすぎないように役割分担するのかなど、一人ひとりが活動しやすい組織を作っていくことの難しさを実感しました。チームを俯瞰して見て方向性を示すリーダーだけでなく、個々のメンバーが何を感じているのかに目を向ける役割も重要であることに気づくこともできました。役場の方との話し合いでは、どうすれば意図が伝わりやすいか、内容の理解にずれが起きていないかということ学ぶことができる非常に貴重な経験でした。

ゼミ以外にも取り組むことが多くある中で、スケジュール管理が大変なときもありました。無理して参加して体調を壊すよりも、忙しくなるタイミングが事前に分かっている際や、体調が悪いときには早めにメンバーに伝えておくことが重要であることも学びました。これは、社会に出る前から必要なことだと思います。社会に出る前にこのような意識を持つことができたのは、ゼミの中で江差町の方と連携しながら事業を行う経験ができたおかげだと痛感しています。本当にありがとうございました。

◆◆ 田中 美帆 ◆◆



私たちの活動に関わってくださいました江差町の皆さん、約3年間お世話になりました。そして、ありがとうございました。私にとって江差町での活動は、「新しい世界を知る」という大きな意味を持っていました。初めはこの環境に馴染めるのか、町民の方々とのようにコミュニケーションを取れば良いのか、たくさん悩みました。しかし、江差町を想う皆さんの気持ちを知ったことで、自分がどう思われるかということより、町のために自分が何をすべきなのかを考えるようになりました。その際、伸び伸び活動させていただいたのも、江差町の皆さんのおかげです。本当に、ありがとうございました。皆さんは、私たちでは至らない部分をカバーしてくださるとともに、社会人の視点からフィードバックをくださりました。そのおかげで、私にとって「新たな世界を知る」ことの意味が、江差町だけでなく社会で動くとはどういうことかを知る大きなきっかけになったと思います。この江差町で学んだことを他の地域や仕事に生かしていきたいと思っています。